



3月を迎えるにあたって



代表取締役 三田雅憲

□

浅春のみぎり、寒さもまだ緩むことなく続いておりますがいかがお過ごしですか？

社員ご家族におかれましては、今年に入りご主人・ご子息の帰宅が遅く心配されていることと存じます。

さて、社報でもお知らせいたしましたように、1月以来、大きな案件といたしまして、建築で2物件、電車で2物件の品物が入荷し動き始めております。その合間合間にスポット的な仕事が入りますので、工場は本当に忙しくさせていただいております。忙しくなりますとどうしても一つ一つの事柄が雑多になり、いろいろなものを無駄に使用したり、安全の見極めをないがしろにするケースも出てまいりますので、特に各班長は冷静に対応して頂きたいと思っております。また、仕事量に比例してクレームも発生しております。些細な事柄でもまじめに聞いて再発防止に努めてもらいたく思います。

2月は当社のテレビ放送に始まり、さまざまな出来事がありました。建築2物件の意匠承認が下りたことにより多くの物件が本社・第2工場へ入荷されたこと、新しいメンバーの加入、新規顧客からの受注、たいへんお世話になったメインバンクの支店長の転勤などなど。多量の物件に関しては、現在保管ラックの設置を検討中です。また、新しく当社の仲間となってくださった方はどちらも50歳代で人生の良い部分とつらい部分を我々以上に経験してこられた方々です。光栄プロテックの家庭的な雰囲気慣れて、3ヶ月後本当の意味で仲間になれるようお互い信頼し仕事をしていきたいと思っています。新規顧客は現在4社ほどの引き合いおよび仕事の発注をいただいております。今後、お互いの信頼関係を築き長いお付き合いの出来るリピーターとしていただけるようみんなで大切にしてください。

そして、当社の25周年記念祝賀にも列席いただき、当社を陰に日向に支えてくださいましたメインバンクの支店長の転勤は本当にさびしい思いでいっぱいです。歴代素晴らしい支店長さんが着任されるのですが特にウマが合い、ほんとうに本音のトークが出来た数少ない支店長さんの一人でした。北の方へ単身で着任されるとのこと、その地域には当社のお客様の工場もありますので、暖かくなった折には必ず元気なお顔を拝見すべくお伺いしたいと考えております。

最後に、私は“産業いきいき！ヒト・モノ・ワザ”の番組中で、「東京への営業強化に努める」と公言いたしました。まだ何も進行していません。みんなは、東京そして海外へも「どうだ、これが光栄プロテックだ！」と自信を持ってお見せできる力量を培ってください。その暁にはわが社の東京への第一歩が踏み出されることとなるでしょう。

